

平成 30 年度 後期始業式 式辞

経験に学ぶ

先週末、またしても大型台風が日本列島を襲いました。皆様のご自宅やご家族、仕事先やアルバイト先に大きな被害はなかったでしょうか。

前回の台風 21 号のときに、関西国際空港は第 1 ターミナルの地下が浸水し、2 本ある滑走路の 1 つが冠水、対岸と結ぶ空港連絡橋にタンカーが衝突して道路と鉄道が通行止めになり、約 8000 人が一時空港内に閉じ込められたことは、記憶に新しいところです。その教訓から、今回の台風 24 号の接近では、関空は 9 月 30 日（日）の 11 時から翌朝まで、2 本の滑走路を閉鎖することを事前に決めました。関空以外でも、日曜日は JR をはじめとする各鉄道会社が計画運休を実施し、百貨店など多くの店舗が営業を取りやめました。

前期終業式でもお話ししましたが、今年度の前半は 6 月の大阪北部地震、7 月の中国四国地方の豪雨、9 月の 3 つの台風と自然災害が立て続けに起きました。そして、今回の台風 24 号では、様々なところで、早め、早めの防災対策が実行されたわけですが、これらは、これまでの災害被害の経験に学んだ結果と言えます。

「経験に学ぶ」と、被害を最小限に食い止めるだけでなく、よき成果を得ることもできます。皆さんは充実した高校生活を送るために、また、自分の夢を実現するために、前期の学校生活の経験から何を学び、後期に向けてどのような対策を立てることができるのでしょうか。

皆さんひとりひとりの経験は異なりますから、その経験から学ぶもことも、人それぞれです。その中で、香風生の大多数とはいいいませんが、少なくない

生徒が前期末に経験したことを例に挙げます。それは、「不認定科目があった」という経験です。受講した授業科目が不認定になった理由は、それほどバラエティに富んでいるわけではありません。「学校に来て、きちんと授業に参加した」と認められなかったケースがほとんどでした。「不認定科目があった」という経験をした人は、明日からの後期の授業開始に当り、どのような対策を立てたらよいのか、自分で考え、行動に移してください。経験から学ぶことができた人は、どんどん成長していきます。そして、「自分は成長できた」「自分はがんばった」というよき経験は、さらにより結果を必ず皆さんにもたらしめます。

一方で、心身の調子が整わず、単位を落としてしまった科目がある人は、まずは健康を取り戻してください。人は頑張ろうとする気持ちだけではどうしようもないときもあります。焦らずゆっくり、自分の調子を取り戻してください。

香風高校のよいところは、１年に２回スタート地点に立てるところです。昨日、入学された１４名の後期入学生だけでなく、在校生の皆さんにとっても、１０月は新しいスタートです。自分自身の前期の学校生活の経験から学び、後期に向けてそれぞれの対策を練って、実行に移してください。後期の終業式のときには、皆さん一人ひとりが、自らの経験から学んだよき成果を手に入れていることを願っています。

以上で、後期始業式の式辞とします。

平成３０年１０月２日

兵庫県立西宮香風高等学校長

石川 照子